

●○○● 吐物処理の方法 ●○○●

【用意するもの】

- マスク □手袋（防水） □エプロン（防水） □シューズカバー（防水） □次亜塩素酸ナトリウム
□新聞紙または布 □ゴミ袋 □バケツ

1 環境の整備

1-1 応援を呼び、周囲の人を遠ざける。

最低でも、半径2m以上の距離をとる。

1-2 嘔吐者はその場になるべく居てもらう。

嘔吐した人が動くと、嘔吐物を拡げてしまうことになるため、なるべくその場で着替えてから移動させる

1-3 換気を行う

消毒による塩素ガスの発生や、乾燥したウイルスが舞い上がり、吸い込んでしまうことがあるため、必ず実施

2 身支度をおこなう

2-1 身支度

- ・時計を外し、袖をまくる
- ・髪が長い場合には髪を結う
- ・防御グッズの装着（手袋、マスク、エプロン、シューズカバー）



- グッズのサイズを平常時に確認しておく！
- 作業は原則2人で行う！
- しゃがんだ時、エプロンの裾が床につかないように！

3 有機物を取り除く

3-1 嘔吐物をふき取る

有機物が残っていると消毒効果が薄れるため、必ず取り除く



- 外側から内側へ！
- ふき取り方向を一方！
- 1度拭き取ったら
ビニール袋へ！

4 有機物の処理

4-1 取り除いた有機物を処理する

使用した新聞紙や布は、すぐにビニール袋へ。最後に、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を、新聞紙や布が浸るまで入れる。



5 有機物の不活化

5-1 床とその周辺の消毒

嘔吐物がついた床と周辺を布や新聞紙で覆い0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液をかける。10分間浸した後にふき取り、ビニール袋へ。



広範囲に！
半径2mまで飛んでいることもある

消毒液をかける時は…

- 低い位置から！
- 静かに！

6 片付け

6-1 嘔吐物がついた物を片付ける

嘔吐物の付いた新聞紙や布は、ビニール袋にまとめる

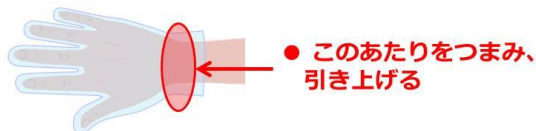


- ビニールは2重！
- 口をしっかりとしばる！
- 蓋付きのバケツ等に入れる！
- 保管は人通の少ないところ！
（食品関係者が通るところは厳禁！）

7 防御グッズをはずす

7-1 手袋をはずす

- ① 手袋の手首部分をつまみ引き上げる
※ 汚染部分が手首につかないように！



- ② 中表に外した手袋を片手ににぎる
- ③ 手首と手袋の間に手を入れ、中表に外す

7 防御グッズをはずす

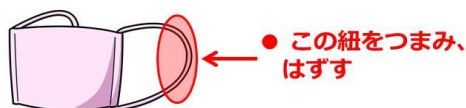
7-2 エプロンとシューズカバーをはずす

- ① 首の紐を肩辺りから前に引っ張り切り、前に垂らす
※ 首の後ろに手を回さない！
- ② 腰紐を腰骨辺りから前に引っ張り切り、中表に丸め外す。
※ 腰の後ろに手を回さない！
- ③ 靴とシューズカバーの間に手を入れ、中表にするように外す。

7 防御グッズをはずす

7-3 マスクをはずす

- ① 耳にかけている紐をはずす



ノロウイルスの消毒

- 次亜塩素酸ナトリウムを利用
感染者が直接触れた場所・物 ⇒ 0.02%
感染者の嘔吐物等が触れた場所・物 ⇒ 0.1%
- 熱を利用
85 度以上で 1 分以上加熱



次亜塩素酸ナトリウムの希釈

塩素濃度 5%の塩素系漂白剤の場合

- 0.02%
漂白剤 2ml (ペットボトルキャップ 1/2 杯弱)
+ 水 500ml
- 0.1%
漂白剤 10ml (ペットボトルキャップ 2 杯)
+ 水 500ml



【発行】

相模原市 保健所 疾病対策課
相模原市中央区中央 2-11-15
電話：042-769-7201

